

0005

光市医師会報

平成12年7月号

No. 333



(網永保人氏撮影)

光市医師会

会員エッセイ

紅燃ゆる

昔々のことになりましたが私が中学校へ入ってびっくりしたのは教育勅語です。あの頃ですから小学校の時も度々聞かされて居た筈ですが、中学校のそれは格別でした。毎日二、三個分の卵の白味で磨きをかけて居ると云う伝説の、つるつるピカピカ頭の校長先生が、うるし塗りのこれ又ピカピカ黒光の箱から巻物一巻取り出してうやうやしく一礼し、軽い咳払いでどのあたりを清め、さびと威厳と感動の入り混じった声で奉読される勅語は、塵一つ動く気配さえない講堂にひびき渡り、おごそかを通り越して神の声そのものかとも聞こえ、いやが応でも直立不動の私達の骨の髄に侵入し全身全霊に染み透ってくるのでした。

こうして教育勅語は私達の生きる道しるべとなりました。現人神、神国日本の思想は終戦と共にバブルと消え去りましたが、教育勅語の教えは、人類誕生以前から未来永劫に至る迄変ることのない倫理、基礎真理、人間の基礎工事ではないかと思えます。父母に孝に兄弟に友に夫婦相和し朋友相信じ・・・之等の基礎土台がなければ人道、人間社会、人生と云う建物は建ちません。このアウト、セーフと云うルールを身に付けていないと人生と云うスポーツには参加出来ません。三つ子の魂百迄、小さい頃から中学校卒業位迄はこの基礎工事を専らにし強固しておくのが大切なことではないでしょうか。

高等学校の寮へ入ったら今度はがらりと変わって自由とか自治とか自律とか云う様なことを先輩連中から吹き込まれました。新しい気風に引きづり込まれそれに悪のりして（と云っても何時も人の尻馬に乗ってですが）無軌道無茶苦茶な生活をして得意になって居ました。でも勅語や終身のおかげなのか最後の一線は誰もが皆守っていたようでした。

河内山医院 院長 河内山 清先生



今年、山口県医師会総会で表彰された

同じ棟の寮に三、四部屋へだてて、くそ真面目をセメントで固めた様な男が居ました。周りの部屋では飲んで帰った連中が放唱高言して騒ぎまくって居るのに、彼だけはねじり鉢巻をしてひたすら勉強に熱中して平然として居ます。然も東洋哲学専攻の国粹主義者で先哲というあだ名の教授に師事心酔し、毎朝ひとりで寮の庭に出て東方遥拝、皇居遥拝、二拍手三礼を怠ったことがありません。

怠け者で授業をさぼっては軟派文学等読んでいた私と彼とは然しどう云うわけか気があいウマが合いました。プラスとマイナスだったからでしょうか。

私は彼と親しくして居るうちに、どうしても彼を誘惑し墮落させてやりたい、やらねばならぬ、それがお前の使命だという天声人語を聞いたのです。彼をこのままにして居てはならない、基礎工事からってっぺん迄一直線のコンクリート造りの建物の様な味気ない人生を送らせてはならない・・・はっきりとそう自覚したわけではありませんが漠然とそう云う思いに駆り立てられて彼の洗脳、洗腸、透析、人間改造にとりかかったのです。文字通り私と同寮になった

のが彼のウンのつきだったのでありました。

私自身中学校時代気持ちの不安定、不安な時期がありました。その時音楽好きの友達が居てよく誘って呉れて一緒に軽音楽を楽しみ、心のリズムを取り戻した体験があります。彼の心のコンクリートを取り壊すのも音楽がよかろうと思い、彼が宝物にして居る浩然の気をくすぐる様な歌詞と節回しの三高、七高の寮歌からはじめて、次第に外国民謡等の優雅な世界へ誘い込もうと計画しました。然し私はこの計画を後悔するのに殆ど時間を要しないこととなります。彼はチョー音痴でありそのくせにチョーベリー音楽好きだったのです。つまり下手の横好きの選手権保持者です、彼にほんの一節を教えるのはリスが籠の中で無意味に車を廻す様なものです。オイ河内山ここんところをもう一度教ええや。もう一度とはイコールもう百どと云う事なのです。あとの後悔先に立たず。悪戦苦闘の末何とかリンデンバウム、野バラ、たそがアレに我アが家の灯・・・調子外れのガラガラ声で、何とか歌える様になりました。彼はすっかり歌に夢中になり、当然の事ながら教科書は開かれたことがなく哲学書はほこりまみれになってしまい、ガンパロー鉢巻は腰にぶら下げた汚れ手拭いアクセサリーに変わって居りました。

こうして彼は自前の無邪気さと純粹お人好しとで皆んなに好かれる人となったのです、丁度頃合いだなと思ったのですが根が熱血漢の彼のことで。モウドウニモトラナイ。ビヤホールや喫茶店でマントの下にその店の灰皿をかくす早業を教えた人が誰か居たのでしょうか、彼の部屋には盗品の灰皿が所狭しと並んで居ます。

当時はアブナ絵ならぬアブナ写真なんて滅多に手に入りません。あちこちたらい廻しにされてポロポロになったヤツがやっこのことで廻ってきました。今だったらポイステ程度の写真ですが飢えた狼の我々にと

ってはキツイ刺激でした。ジェット噴射は免れぬところですが。翌朝彼が云いました。オイお前はなんぼいったんや？俺は四連発やで、シャキッとしようが・・・彼は午前の授業中グウグウいびきをかいて眠って居りました。トホホホ・・・私は連チャンで、終わって丁ったと云うのに。

或る場末の映画館で切符受取り係のメッチェンが手を握って呉れる（もっぱら高等学校生徒だけが対象だとのことでした）と云ううわさを耳にしました。ためしに行ってみましたら、うわさはまさしく本当、まさ夢、真実そのものでありました。映画館を出てから彼が云いました。オイ河内山、明日も又来ようや。又もやトホホホ・・・おそれいり奉ります。こらえて下さい。もう面倒見きれません。

彼とは大学進学で別れ別れになりました。学徒動員で出征すると云って私の下宿にやってきて、この世の名残に何処か旅行しようとうことで金毘羅様、屋島へ一泊旅行することになりました。屋島へ着いたのは夕方頃です。私達を迎えて呉れたのは紅に燃ゆる大きな夕日でした。空も雲も海も彼も山も谷も草木もありとしあらゆるものが真紅に染まって光を放って居ります。この様な壮大な美しい神秘的な光景、景色を観たのははじめてです。放心呆然として眺めて居るばかりでした。出陣を前にした彼の澄みきった純粋な心が天にとどき、山びこの様に反映して来て真紅の虹になったに違いありません。

以後戦争はますます熾烈になり敗戦となりました。長い戦争の間多くの若者がどの様な尊い魂の体験をし、どの様な辛く苦しみ耐え抜いてきたことでしょうか。その心の歴史は限りなく尊く永遠に光り輝きつづけるものと思はれます。

彼も今は元気な孫達に囲まれて平安な日々を送って居ります。夕方から夜にかけては、生徒数わずかな塾で中学生に自分の夢

を託し、昼間は自転車で家里少し離れた所へ行って畑仕事です。畑仕事の合間に草の土手の上に寝転んで何時も口ずさむのは彼が一番好きだったあの第三高等学校逍遥歌です。

紅萌ゆる岡の花
早緑匂う岸の花
.....

彼は今でもシャキッと居るのでしょ
うか。

光市医師会納涼懇親会
虹ヶ浜カントリークラブにて

平成12年7月18日虹ヶ浜カントリークラブにて、恒例の光医師会納涼懇親会が開催された。席上にて、長年にわたり光警察署の留置管理業務嘱託医をつとめ3月31日に、上田博署長から県警本部長感謝状を受けられた中村内科医院、中村琢美先生に前田会長よりお祝いが、手渡された。中村先生、おめでとう御座います。



理事の会議報告

平成12年度児童虐待防止地域ネットワーク連絡会議

平成12年7月27日（木） 午後2時—4時

山口県徳山総合庁舎

出席 河村理事

対象地域 徳山児童相談所管内（岩国—新南陽市）

出席者 環境保険所、郡市健康増進課、保険センター、教育事務所、
警察署、幼稚園、保育園、医師会、児童委員、弁護士、法務局、
児童相談所

協議議題

1) 児童虐待の現状と対応について

山口県では平成2年では11件の虐待報告であったが、平成11年
では101件（徳山管内は22件）と急増している。

虐待には①身体的虐待

②養育の拒否、怠慢（ネグレクト）

③心理的虐待

④性的虐待 がある。

（対応）

疑わしきは通告

早期発見、早期対応が望ましい

2) 児童虐待防止法の制定（11月発効）

3) ビデオ「子供の声に耳をすませて」

4) 施設紹介

①東部少年サポートセンター（岩国警察署内）

0827-23-5150

②徳山市子育て交流センター

平成12年7月度定例理事会

日時：平成12年7月12日
午後7時30分より

場所：医師会事務局

議題：

- 1) 郡市成人高齢者保険担当理事
協議会の報告(松村副会長)
- 2) 平成12年度光市医師会
会計報告(4-6月)(藤原理事)
- 3) その他
 - ① 市内幼稚園・保育園関係者と
園医との意見交換会開催について
(10月25日)(河村理事)
 - ② 休日診療所開設準備委員会に
ついて(光武理事)
 - ③ 8月度例会の予定について

光医科歯科医師会ゴルフコンペ

日時：平成12年7月23日
場所：周南カントリークラブ

順位	氏名	G	H	N
優勝	兼清	89	8	81
2位	前田	93	11	82
3位	守友	120	36	84
4位	森本	92	4	88
5位	守田	97	6	91
6位	竹中	114	21	93
NR	富恵			
	NP 前田、富恵			
	DC 兼清、久保田			
	BG 兼清			

・・・あとがき・・・

河内山先生、中村先生の、益々元気な、パワーに負けないよう、
広報係も、バージョンアップしなくては。(文責 兼清)

発行所	光市医師会 TEL 0833-72-2234
発行者	前田昇一
編集者	会報担当
印刷所	光市光井一丁目15番20号 中村印刷株式会社